

科 目 名	スポーツ総合2				
配 当 学 年	1年	必修・選択	選択	CAP制	対象外
授 業 の 種 類	実習	単 位 数	1 単 位	授業回数	15
授 業 担 当 者	今野 靖政（非常勤講師）		単位認定責任者	今野 靖政（非常勤講師）	
実務経験の有無	無				
実務経験のある教員名および授業の関連内容	-				
授業科目の概要	クラスの意識を持たせるためにチームゲーム、団体戦方式でミニバレー、ラケットテニス、卓球の3種目を展開し、フィットネステスト（新体力テスト）では、現状における個々人の体力確認をする。				
授業科目の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 受講者が主体的にそれぞれの運動種目についてのウォーミングアップができる。</li> <li>2. チームメイトとコミュニケーションができる。</li> <li>3. 受講者がそれぞれの運動種目における基本練習について、内容把握ができる。</li> <li>4. それぞれの競技種目のルールを理解し、ゲーム管理ができる。</li> <li>5. 体力レベルの劣る受講者への配慮と協力ができる。</li> </ol>				
学修成果評価項目（%）および評価方法	項目	割合	評価方法		
	基礎学力	%			
	専門知識	%			
	倫理観	%			
	主体性	60 %	取組状況等		
	論理性	%			
	国際感覚	%			
	協調性	30 %	取組状況等		
	創造力	%			
責任感	10 %	取組状況等			
授業の展開					
1.	ガイダンス：受講上の注意と評価方法について				
2.	フィットネステストⅠ				
3.	ミニバレーボール：パストリル、チーム編成と簡易ゲーム				
4.	ミニバレーボール：サーブ&レシーブ、リーグ戦				
5.	ミニバレーボール：スパイク、ブロック、レシーブフォーメーション、リーグ戦				
6.	ミニバレーボール：クイック・ブロックフォーメーション、リーグ戦				
7.	バドミントン：クリア、ドロップ、ヘアピン等のショットスキルの習得、2人組ラリー、簡易ゲーム				
8.	バドミントン：スマッシュ、ドロップの使い分け、シングルスリーグ戦				
9.	バドミントン：応用ストローク、ブロック別のダブルスローテーションゲーム				
10.	バドミントン：ストロークの完成、参加者全員によるダブルスローテーションリーグ戦				
11.	卓球：サービス&フォアハンドストローク、シングルスゲーム				
12.	卓球：バックハンドストローク、1対1のラリー、シングルスゲーム				
13.	卓球：ショート打法とスマッシュ、ダブルスゲーム				
14.	卓球：ドライブ&カット打法、ダブルスゲーム				
15.	フィットネステストⅡ、まとめ				
授業外学修について	本授業における到達目標を各自で設定すること。 例えば				

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ストレッチングの手順と種類を用意しておく。</li> <li>・基礎技術練習を考えておく。</li> <li>・選択種目のルールを確認しておく。</li> <li>・ゲーム評価を含め、前回の授業内容を整理しておく。</li> </ul> <p>* 授業開始前、終了後の体力づくり、トレーニング、健康関係の質問、相談に対処する。</p>				
教科書	使用しない。				
参考文献	資料等は適宜配布する。				
試験等の実施	定期試験	その他のテスト	課題・レポート	発表・プレゼンテーション	取組状況等
	×	×	×	×	○
成績評価の割合	0 %	0 %	0 %	0 %	100 %
成績評価の基準	<p>本学の評価基準に基づき、成績評価を行う。</p> <p>秀（100～90点）、優（89～80点）、良（79～70点）、可（69点～60点）、不可（59点～0点）</p>				
試験等の実施、成績評価の基準に関する補足事項					

（スポーツ総合2）